１１国際統合論と地域主義
歴史のある研究→いかに国境の壁を低くするか?
例：EU

グロバリゼーションという動き･政策
VS リージョナリゼーション（地域化･地域主義）という動き･政策

なぜヨーロッパはまとまろうとしたのか?
二つの世界大戦を経験
まとまらないと欧州の未来はない
→米国に対抗できない

まずは経済で統合しよう
次に共同の安全保障を
最後に、超国家的共同体（supra-national community）をつくる
欧州から生まれた国家が、欧州から無くなる?

国際統合（integration）の理論
究極には、平和を目指す。
☆国際機能主義→郵便･電気通信･貿易･運輸などの分野で国境を超えることができる。
☆新国際機能主義→経済統合が、政治、安全保障などに波及する。
→「スピルオーバー･モデル」

実際の欧州統合の流れ
トルコは EU に入るのか?
1952 年 ECSC の設立
1967 年 EC の発足
1993 年マーストリヒト条約発効→ EU の発足
1997 年アムステルダム条約調印
2000 年ニース条約
2004 年欧州憲法条約採択

EU は地域主義の一つ

EU 統合の特徴→目標を立てて計画的に進む
EU の位置づけをどうとらえるか?

アジアでは
ASEAN10 ヶ国＋３（日本､韓国､中国）
アセアンの結束は堅い

北東アジア情勢は 19 世紀的→冷戦状態（北朝鮮）、日中韓の関係
インドは、オーストラリアは、ニュージーランドは･･･

地域主義
目標は、統合（ヨーロッパ）、共同（アジア）、協力などさまざま

１２グローバル･ガバナンス論の視点
（上からの）統治（government）
ガバナンス＝協治?（governance）
誰と誰が協力するのか?公と私、官と民
パートナーシップ→ A と B が対等な立場で

グローバル･ガバナンスの概念
特定の制度や組織のことではない
意志決定のプロセス
→民主主義、統治という概念を越えてしまっている。
問題解決のネットワークの構築

世界経済フォーラム（スイス･ダボス）

５つの大切な理論
☆「現実主義」理論
☆世界システム論
☆国際レジーム論
☆国際統合論
☆グローバル･ガバナンス論

１３地球環境問題と国際政治

北と南の社会･経済的格差から生じる問題
途上国の貧困が環境破壊を生む問題
バングラディシュの成人女性の識字率→ 30%
汚染の原因者が自国にも他国にも被害を与える

sustainable development →持続可能な開発/発展
将来の世代の要求を損なうことなく、現代の要求を満たすような開発

1972 年国連人間環境会議
ローマクラブ報告書「成長の限界」
1983 年「ブルントラント委員会」発足→ 1987 年報告書

1992 年国連環境開発会議（地球サミット）
1994 年国際人口開発会議
1995 年世界開発サミット、世界女性会議
1997 年 COP3=気候変動枠組み条約締結国会議
2002 年持続可能な開発に関する世界首脳会議

「もう一つの発展（alternative development）」を訴える
産業革命の延長上にある発展じゃない発展
外発的と内発的、適正技術